

活動実績 (2020年12月~2021年5月)

【地域活動】

- 自然と環境の学習の場創り事業
- ・緑化活動:南岸12/12(土), 2/20(土), 3/20(土), 5/8(土), 北岸1/16(土), 4/10(土)
- 出前講座
- ・美ら夢子ども園「公園の自然とホテルの観察会」:5/29(土)
- 団体受入
- ・ELO赤土等流出防止対策実践バスツアー@八重瀬町:12/5(土)

- ・ELO赤土等流出防止対策実践バスツアー@宜野座村・金武町:12/19(土)
- ・JOCA沖縄:4/22(木)
- 第5回おきなわ水環境セミナー:3/9(火)
- 八重瀬町・琉球大学JST SOLVE for SDGsプロジェクト:みずのわクラブ活動11/29(日), 12/20(日), 1/17(日), 2/21(日), 3/21(日)
- 水辺の散乱ゴミ発生抑制のための環境学習学校教材の開発に向けての可能性調

- 査:実践授業 2/13(土), 2/26(金), 4/20(火)
- 【国際協力】
- 受託事業
- ・JICA研修員受入事業:課題別研修(遠隔研修)「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(A)」:1/11(月)~2/5(金)
- ・JICA研修員受入事業:課題別研修(遠隔研修)「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(B)」:2/8(月)~3/5(金)

活動計画 (2021年6月~11月)

【地域活動】

- 自然と環境の学習の場創り事業
- ・緑化活動:南岸6/12(土)、以降、北岸or南岸で毎月第2土曜日9:00から開催予定
- 水辺講座:夏休み期間中に児童クラブなどを対象に開催予定
- 第6回おきなわ水環境セミナー:宮古島で開催予定
- 八重瀬町・琉球大学JST SOLVE for SDGsプロジェクト:夏休み期間中にサマ

- ースクール開催予定
- イベント出展予定
- ・県民環境フェア、おきなわ国際協力・交流フェスティバル、国場川水あしび
- 【国際協力】
- 受託事業
- ・JICA研修員受入事業:課題別研修(遠隔研修)「2020熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(A)」:10/4(月)~10/15(金)

- ・JICA研修員受入事業:課題別研修(遠隔研修)「2020熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(B)」:10/18(月)~10/29(金)
- ・JICA研修員受入事業:課題別研修(遠隔研修)「2021熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(A)」:11/1(月)~12/10(金)

お知らせ

残念ながら、今年も、サガリバナ観賞会は中止します...

会員・ボランティア募集

- 入会申し込みは、ホームページから。
- 緑化活動をお手伝いして下さるボランティアを随時募集しております。お気軽にお問い合わせください。

達人デリバリー (出前講座)

ミライへ・プロジェクト (団体受入)

- 申し込み、問い合わせはこちらまで!
- TEL 098-833-9493
- e-mail gyomu@npo-oec.com

水辺のいきものアルバム



「トントンミー」と呼ばれるミナミトビハゼ



マングローブアマガイかな?



ヤドカリ ひっくりかえしてみた



ミルスベリヒユの花 アリが隠れている



ハマユウ(ハマオモト)の種は海流に乗って運ばれる

2021年度定期総会 開催のお知らせ

- 日時: 2021年6月25日(金)
- 議案①2020年度活動実績
- ②2020年度決算
- ③2021年度活動計画
- ④2021年度活動予算

※昨年に引き続き、会員の皆様には、「書面による表決」をお願いいたします。

特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ



〒902-0075
沖縄県那覇市宇国場370番地307号室
TEL 098-833-9493
FAX 098-833-9473



ホームページ
<http://www.npo-oec.com>
e-mail kokuba@npo-oec.com
www.facebook.com/OkEnv



OEC ニュースレター

～自然と環境の保全是足元から～
特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ(OEC)

vol.36
2021年6月発行

【1面】
・SDGsとOECプログラム
・国場川ごみゼロ:学校教材

【2面】
・緑化活動が楽しくなりました
・サポーターの声
・初めての遠隔研修
・みずのわクラブ活動

【3面】
・マングローブのつばやき
・おきなわ水環境セミナー

【4面】
・活動実績
・活動報告
・お知らせ
・活動アルバム

表紙の植物 ハマユウ
「ハマオモト」とも呼ばれるヒカンバナ科の多年草で、種は黒潮によって分布を広げます。

トピック① SDGsとOECプログラム

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。子どもの貧困や、ジェンダー平等、クリーンエネルギー、働きがい、まちづくり、気候変動対策、陸や海の生物多様性など、日本が取り組むべき課題も多い。

OECは、2021年3月に登録された「おきなわSDGsパートナー」として、また特に環境学習プログラム提供事業では「地域ESD*活動推進拠点(地域ESD拠点)」として、持続可能な社会づくりへの積極的な貢献を表明している。

OECのホームページには、「水辺の自然・環境を守り世界とつながるOEC」として、OECのSDGsへの取り組みがまとめられている(写真)。ニュースレターやFacebookでお知らせしている様々な活動が、どのSDGsの目標に関係しているのかが分かるので、是非一度ご覧になってほしい。

例えば、団体受入では、今年度改訂した新しいパンフレットに、関係するSDGs目標が表記されている。特に、漫湖水鳥・湿地センターと周辺で実施するプログラム「街なかマングローブ、生きもの、人の暮らし」は、動植物の生態だけでなく、人の暮らしの影響を目の当たりにすることで、自らの行動を問う良い機会となる。

(事務局長 立田亜由美)
*ESD: Education for Sustainable Development = 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育



OECホームページ(www.npo-oec.com)上のSDGsコンテンツ

トピック② 国場川ごみゼロ作戦: 学校教材を開発!

前回のニュースレターで紹介した環境学習教材のプロトタイプが完成した。
①漫湖をモデルに沖縄の干潟でみられるいきものを学ぶ「おきなわ水辺のいき

ものさがし」、②散乱ゴミのカードを分類し、その背景を考察していく「ゴミ分類ゲーム」、③河川が汚れる原因について知り、きれいにするためにできることについて

考える「国場川クリーンアップすごろく」の三点である。

これらは組み合わせて使うことも、単独で使うことも可能だ。「いきものさがし」や「すごろく」は、プロにお願いしたイラストがかわいいと好評で、子供たちも目を輝かせながら体験している。教材を使った出前講座はもちろんのこと、今後は教材の商品化も目指して内容をさらに充実させていく予定だ。

体験は無料だが、当事業は皆様からいただいた寄付金で運営しており、寄付によるご支援も同時に受け付けている。詳しくはOECホームページの「国場川ごみゼロ作戦」コンテンツをご覧ください。

(研究員 金城明子)



「おきなわ水辺のいきものさがし」教材を体験して、いきものマスターになろう!

トピック③ **楽しかった 緑化活動**

長年取り組んでいる漫湖河岸での水辺の植生再生活動は、今年度もセブン-イレブン記念財団の助成金等を活用しながら、毎月定例で開催している。

季節の移り変わりを肌で感じられることも魅力的なほか、苗のお土産やボランティア活動参加証明書の発行も参加者の皆様にご好評いただいている。

今年度は原則第2土曜日の9:00から活動を行う予定。昨年度は草刈りや植栽活動とあわせて開催したサガリバナの取り

木教室や育て方教室などが好評だったため、今年も緑化活動に楽しい体験プログラムを組み合わせることになった。

5月には、在来植物ピロウ(方言名:クバ)を使って「指ハブ作りワークショップ」を開催。苦戦しながらも没頭し、参加者の皆様楽しんでいただけたようだ。

今後もお手入れ作業のあとに植栽や自然観察、在来植物をご自宅で楽しめるような各種教室、在来植物を使ったワークショップの開催など楽しい企画を考えている



指ハブ作りワークショップ後の記念撮影

ので、ぜひお気軽にご参加ください。

開催のお知らせや報告はOECのFacebookページでも公開中!

(研究員 金城明子)

トピック④ **サポーターの声：ボランティアの本村さん**



本村さん

本村さんは茶目っ気のある笑顔が印象的な方で、八重瀬町の議員をされている。水辺講座に参加したことをきっかけにOECに興味を持ち、現在は緑化ボランティア活動へ積極的に参加されている。

今後の展望についての問いに「今の活動を継続していくこと」と本村さん。OECへの要望をお聞きしたところ「緑化ボランティア活動を途絶えることなく継続してほしい。あと、コロナ禍が収束したら親睦会をやりましょう!」と笑顔でおっしゃっていた。

(研究員 高嶺正満)

報告① **初めての遠隔研修**

新型コロナ禍の影響で、昨年度実施したJICA研修「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営(A)(B)」コースは、翌年度に本邦研修を実施する想定での遠隔研修となった。

英語のAコース、スペイン語のBコース共に、毎日2時間程度の4週間の研修期間で、Aコースは1月11日(月)~2月5日(金)、Bコースは2月8日(月)~3月5日(金)の期間実施し、それぞれ7名、10名の研修員が自国での業務をこなしながら参加した。

時差のある研修員のための教材はオンラインでライブ提供するわけにいかず、時間をかけて教材ビデオを録画・編集し、必

要に応じてアフレコ(吹き替え音声録音)を行い、準備した。初めのうちは慣れなかったビデオ編集作業も、準備が終わる頃には上達し、これからのOECの環境学習教材作りにも活かすことのできる技術を得るチャンスとなった。

今年度こそは本邦研修を!と期待していたが、どうやら今年度も来日はかなわないようである。そのため、来日できない研修員のために、臨場感のあるエコツア体験ビデオ教材をどうやって制作しようかと、新しい取り組みに工夫を凝らす日々である。

(事務局長 立田亜由美)



Aコースのオリエンテーション(カリブ地域の研修員を除く)



Bコースのオリエンテーション



川の水の水質調査

報告② **みずのわクラブ活動**

琉球大学の「SOLVE for SDGs 八重瀬町プロジェクト」の一環で、八重瀬町の小学生と保護者を対象とした水環境学習プログラム「みずのわクラブ」の企画運営業務を受託した(2020年10月から2021年3月)。

この中で、11月から3月までの毎月1回、河川や湧水に棲む生き物の観察や採取した水の水質検査等を行い、生活と水のかかりについて学んだ。3月には、与論島の「みずのわクラブ」とのWEB交流会で活動の成果発表会を開催した。

このプロジェクトでは、持続可能な水資源利用のための住民参加型の流域管理体制づくりを琉球大学と八重瀬町が共同で目指している。

(研究員 高嶺正満)

コラム **マングローブのつばやき~その18~ 水辺の修景と学習の場づくり**

沖縄はマングローブの世界分布域の北限に近い。熱帯地域に比べ背丈の低い「盆栽マングローブ」と呼ばれるコンパクトなマングローブ湿地と、その先に規模の小さな河口干潟が広がる。これまで、「修景*等を目的とした植栽」や「木道の設置」などが行われ、沖縄のマングローブを観察したり、楽しんだり、学ぶこともできるようになった。

家庭園芸の月刊誌「緑と生活」1989年1~12月号に連載した「川のほとりに緑を!」で、マングローブを用いた河岸や海岸、淡水池の緑化を提唱した。それ以後今日ま



写真1.川満漁港のヤエヤマヒルギ(2020年)

での30年余で、宮古島川満漁港で「修景と防災」(写真1)、うるま市州崎で「修景と学習の場づくり」(写真2)、那覇市金城ダムで「修景」をそれぞれ目的として、ヒルギ類やサガリバナを用いた水辺緑化が実現した。

また、1997年、県自然保護課と金武町・豊見城村(当時)の職員、民間会社員、マングローブ協会職員の計7名がマングローブの「木道」などについて、シンガポールとタイ南部のパンガ湾やラノンを視察・調査した。この時の調査報告の中で、沖縄本島の億首川や国場川の河口マングローブに木道の設置を提唱した。すると、本島の東村慶佐次川、金武町億首川、豊見城市国場川河口、そして宮古島市島尻と川満の



写真2.うるま市州崎のマングローブテラス(2003年)

マングローブで、木材と鉄骨やプラスチック素材の木道が設置された(写真3)。今、木道が設置されたマングローブ湿地は、自然と環境の学習の場としてのみならず、貴重な観光スポットとしてもにぎわっている。(会長 下地邦輝)

*修景:自然の美しさを損なわないように風景を整備すること。



写真3.金武町億首川マングローブの木道(2020年)

報告③ **第5回おきなわ水環境セミナー**

2021年3月9日(火)に、八重瀬町の与座集落センターで「第5回おきなわ水環境セミナー」を開催した。当日は、八重瀬町議会議員および町役場職員、大学関係者、OEC会員など25名が参加した。

現状では、水道水の摩文仁浄水場と農業用水の慶座地下ダムの水源地流域が重複している。飲み水と農業用水では水質基準が異なるため、摩文仁浄水場の存否が問われている。

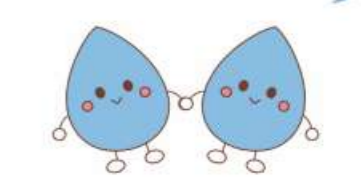
この日は、まず、当クラブ会長の下地が講師として「水源地流域(地下水)窒素汚染」と「硬度低減化」の対策に島を挙げて取り組んで成果をあげた宮古島の事例などを紹介した。その後、会場の参加者と摩文仁浄水場の三つの選択肢(①浄水場の継続、②企業局へ移管、③浄水場の廃止)についての質疑応答を行った。

質疑応答では参加者と活発な意見が交わされ、「またこのようなセミナーを開いてほしい」という声があがるなど盛況のうちに閉会した。

(研究員 金城明子)



地域の水がどこからきたどんな水か、どう処理されているか知っているかい?



みずのわマップ作り



セミナーの様子